

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 6 2 回相模原市社会福祉審議会児童福祉専門分科会		
事務局 (担当課)	こども・若者未来局 こども・若者政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 3 1 5 (直通)		
開催日	令和 4 年 9 月 2 8 日 (水) ~ 1 0 月 7 日 (金)		
出席者	委員	1 0 人 (別紙のとおり)	
	その他	/	
	事務局	/	
公開の可否	可	不可	一部不可
傍聴者数	/		
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面会議のため		
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p>( 1 ) 幼保連携型認定こども園及び保育所の認可について</p> <p>( 2 ) 相模原市母子保健計画の進捗状況について</p> <p>3 その他</p> <p>( 1 ) 令和 3 年度相模原市における児童虐待等の相談状況について</p> <p>( 2 ) 令和 4 年 4 月 1 日現在の保育所等利用待機児童数について</p> <p>4 閉 会</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の意見、 は事務局の説明)

( 審議を書面等で行った理由 )

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により審議会委員等の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

### 1 開 会

### 2 議 題

#### ( 1 ) 幼保連携型認定こども園及び保育所の認可について

幼保連携型認定こども園の認可について及び保育所の設置認可(認定保育室からの認可化移行)について、事務局より説明資料の送付を行った。

書面により審議を行い、本議案内容について、次のとおり意見があった。

#### ア 幼保連携型認定こども園の認可について

- 制度概要の中に、幼稚園型認定こども園についての説明を載せていただくと、なぜ、幼稚園型が幼保連携型認定こども園に移行するのか、委員の皆様にも理解できるのではないか。(内田委員)

ご指摘のとおり、委員の皆様理解しやすい説明資料を作成できるよう、頂いたご意見を参考とさせていただきたい。(保育課)

- 子ども・子育て支援事業計画では、令和6年までに幼保連携型への設置目標数は39園とある。教育的な促進や安定的な運営面を考え条件に問題がなければ優に目標数を超えていくと思うが、相模原市行政としては積極的に推奨する方向であるのか。(内田委員)

令和4年度は目標設置数37園に対し38園設置され、令和5年においても目標設置数38園に対し、6園(私立園5園、公立園1園)移行予定のため、44園設置予定であり、目標設置数を達成する見込みである。(保育課)

#### イ 保育所の設置認可(認定保育室からの認可化移行)について

- 幼い子供の悲惨な事故がたびたび聞かれる中、保育する職員の保育資格所有は最低限の条件である。安定した運営が事故防止にもつながるものと思われるし、少子化の中で認可化移行を強く望む。代替公園まで信号のない十字路や、歩道のない場所は十二分に気をつけて頂きたい。(相沢委員)

今後についても、認可化移行を希望する施設に対しては、円滑な認可化移行を支援できるよう、指導・助言等を行う。また、代替公園を設定する場合には、安全計画等を策定のうえ、保育士又は施設従事者に周知徹底をするよう、適切な指導・助言を行う。(保育課)

- 認定から認可への移行は国・市の最低基準を満たすことであり、保育の質の向上や働く職員の処遇に直結することにもつながり良いことだと思う。行政からの指導・助言等の援助でスムーズな移行後の支援をお願いする。(内田委員)

今後についても、認可化移行を希望する施設に対しては、円滑な認可化移行を支援できるよう、指導・助言等を行う。(保育課)

## (2) 相模原市母子保健計画の進捗状況について

第4次相模原市母子保健計画の進捗状況について、事務局より説明資料の送付を行った。

書面により審議を行い、本議案内容について、次のとおり意見があった。

- 計画の096「青少年教育カウンセラーの紹介事業」について。小中のカウンセラーの先生方には学校での問題だけでなく子ども達の内面、家庭内の問題も見逃すことなく、伝えることの出来ない子供達を救って頂きたいと思う。(相沢委員)

不安や悩みがある子どもが安心感や笑顔を持てるようカウンセラー、学校、関係機関が連携し、子どもや保護者に寄り添った温かい支援を行っていききたい。(青少年相談センター)

- コロナ禍の中、実施できる事業やできない事業があることは仕方がないが、オンラインの活用等がありつつも、子育て事業ではやはり対面での対応が望まれる。一日も早く、計画した事業が実施されることを願う。(内田委員)

対面実施の利点を踏まえつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、適切な手法により、事業を継続的に実施できるよう取り組む。(こども家庭課)

## 3 その他

### (1) 令和3年度相模原市における児童虐待等の相談状況について

事務局より説明資料の送付を行った。

書面により審議を行い、次のとおり意見があった。

- 虐待者別の項目で実父、実母と比べて実父以外の父母の数の差に少し違和感を覚えた。他の項目も含め救い上げられない数がまだまだあるのかなとも感じた。(相沢委員)

児童虐待に関する通告は、子どもの面前での夫婦喧嘩等といった警察からの

心理的虐待の通告や、子どもの泣き声や保護者の怒鳴り声等を心配する近隣からの通告が大半を占めている。そうした状況は、どの家庭でも十分に起こり得るものであることから、実父母による虐待が占める割合が大きくなっているものである。(こども家庭課)

- 感染拡大で自宅療養が余儀なくされ家族で過ごす時間が増える中、今まで見えなかった夫婦、親子間にも疲れがストレスとして出ているのではと感じることがある。資料から見ても件数内容を見ても乳幼児が多い中、地域や関係機関と連携して支援をしていきたい。(内田委員)

こんにちは赤ちゃん事業や乳幼児健康診査等の場面で、育児に不安を抱える家庭を積極的に把握するとともに、保育所や幼稚園、学校等の子どもの所属機関に対する協力依頼などにより、児童虐待の早期発見に努めている。特に乳幼児は自分で助けを求めることが難しいことから、地域や関係機関との連携が重要となるので、引き続きご協力いただきたい。(こども家庭課)

## (2) 令和4年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について

事務局より説明資料の送付を行った。

書面により審議を行い、次のとおり意見があった。

- 就業前児童数の減少は、相模原市に限ったことではないが、全体数が少なくなる中で幼稚園、保育園、こども園に定員割れの心配が生まれてきている。市内での地域格差はあるが、国や市が待機児童0を目指していた数値に限りなく近づいた中では公立、民間の在り方を含め受入れ枠の需要・供給のバランスや適切な施設の定員数の見直しなど課題を検討するときになったと思う。(内田委員)

現在、公立園では、津久井地域において再編・再整備を実施するとともに、旧地域でも児童数の減少により、受入年齢の見直しを行っている。

就学前児童数は減少傾向にあるが、一方で利用申込者数は依然として増加傾向にあり、保育の需要の動向について、引き続き注視してまいりたい。(保育課)

## 4 閉 会

以 上

市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会 委員出席名簿

番号	氏名	役職・推薦団体	備考	出欠席
1	おおぬき 大貫 きみお 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
2	ささの 笹野 あきお 章央	相模原市社会福祉協議会		出席
3	うちだ 内田 のりこ 紀子	相模原市私立保育園・認定こども園 園長会		出席
4	かわさき 川崎 ひさし 永	相模原市幼稚園・認定こども園協会		欠席
5	たがわ 田川 つぐよ 継世	相模原市ひとり親家庭福祉協議会		出席
6	おおみぞ 大溝 しげる 茂	星槎大学専任教授（元桜美林大学教 授）	分科会 会長	出席
7	たけした 竹下 まさゆき 昌之	相模女子大学専務理事	職務代理	出席
8	なかやす 中安 こうた 恆太	和泉短期大学准教授		出席
9	よこやま 横山 しげふみ 恵史	相模原市立小中学校長会		出席
10	あいざわ 相澤 ゆみ 由美	相模原人権擁護委員協議会		出席
11	しながわ 品川 よういち 洋一	相模原市医師会		欠席
12	たじま 田島 としき 敏樹	相模原市医師会		出席